

令和2年度 津乃峰小学校学校経営全体構想

学校教育目標

- (1)津乃峰町に深い愛着と誇りを持ち、自主的・自立的・創造的能力に富んだ児童を育てる。
- (2)基本的人権を尊重し、人間性豊かで心身ともに健康でたくましく生きぬく児童を育てる。

学校経営の基本方針

- (1)子に応じた指導を行い、基礎基本の定着を図ると共に、生活で生かせる力の習得を目指す。
- (2)一人一人が成長を実感できる機会を作り、自他を尊重し、共に励まし合う児童の育成を図る。
- (3)家庭や地域との連携・協力体制を深め、安心・安全な学校を目指す。
- (4)「チーム学校」としてお互いが得意とする力を結集し、学校全体の教育力の向上を目指す

研究主題

聴き合い、学び合い、認め合う子どもの育成
—自分や友だちを大切に、他者と心豊かにつながる活動の工夫—

めざす 学校像

- 楽しい学校
- 美しい学校
- 生き生きとした学校

めざす 子ども像

- 自分から学ぶ子
- 明るく助け合う子
- やりぬく子
- じょうぶな子

めざす 教職員像

- 子どもを中心に据え、子どもと共に歩む教職員
- 研修に努め、創意工夫を絶やさぬ教職員
- 互いに補い合い協力し合う教職員

学校スローガン 「命を守り、夢を追求する子どもを育てる津乃峰小学校」

本年度の重点事項

生きて働く学力の定着

●基本的生活習慣の定着及び家庭教育力の推進

- ★自主学習の奨励
- ★生活振り返りカードの活用
- ★読書活動の推進
- ★家庭学習の手引き等の活用

●基礎・基本の定着

- ★朝の活動「はげみタイム」の充実
- ★ノート指導の充実
- ★昼の活動「どんどんタイム」の充実
- ★立腰教育の推進
- ★チャレンジコーナーの充実
- ★国語辞典の活用
- ★聞き方・話し方「あいうえお」の活用

●主体的な学びとなる授業改善

- ★意欲の継続を図る場作り
- ★話し合い活動の充実
- ★思考ツールの活用
- ★ICT機器の活用
- ★体験活動・表現活動・探求学習の充実

●ユニバーサルデザインの視点を取り入れた学習環境の整備

- ★環境の構造化・板書・発問の工夫
- ★特性に応じた提示の工夫
- ★合理的配慮の整備（TT指導、通級指導教室、特別支援学級での学び）

心身共に豊かで協力し合う仲間作り

●いじめを許さない体制作り

- ★アンケート調査や会話による状況把握
- ★保護者・地域と連携した早期発見・対応のための取組
- ★関係諸機関との連携強化

●仲間を大切に作る児童の育成

- ★人権教育・道徳教育の推進
(自尊感情の育成、規律ある生活の定着)
- ★特別支援教育の推進（全教職員で取り組む支援体制づくり）
- ★異年齢班（ふれあい班）活動の充実
- ★学級経営の充実
- ★全児童を全教職員で育てる体制づくり

●矛盾に気づき問題を解決しようとする児童の育成

- ★多様な教材を基にした様々な人権問題についての学び充実
- ★交流活動の充実（外部講師招聘・識字学級への参加等）
- ★阿南中学校区ブロック人権、市指定人権教育への具体的取組

防災教育の推進

●児童が主体的に行動する防災教育の推進

- ★緊急地震速報システムを利用した避難訓練の実施
- ★児童の発達段階を考慮した系統性のある年間計画の作成（クロスカリキュラム）
- ★防災・減災の知識や技術を地域に発信する活動
- ★チャレンジ防災クラブの児童による自主的な活動

●家庭や地域と連携した防災教育の推進

- ★保護者と連携した「引き渡し訓練」の実施
- ★地域協同型（バス宿泊・防災フェスタ）避難訓練の実施
- ★科学的根拠に基づいた実践的避難訓練の実施

●地域に誇れる心を育てる

- ★防災マップ・パンフづくり等と各避難所めぐりの実施
- ★津峯山への登山と地域再発見
- ★地域の被災人材ネットワークの構築とサポート体制の強化

児童スローガン 「あいさつ学校日本一」「防災学校日本一」